2022年10月３日

各　　位

会 社 名　ＡＺ－ＣＯＭ丸和ホールディングス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　和 佐 見　勝
（ コード番号：9090　東証プライム市場 ）
問合せ先　取締役専務執行役員経営管理グループ長
葛 野　正 直
（ ＴＥＬ　048-991-1000 ）

「統合報告書2022」の発行に関するお知らせ

当社は、2022年10月１日付で純粋持株会社体制に移行したことを機に、当社グループ初となる「統合報告書2022」を発行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．「統合報告書2022」の概要

本統合報告書は、ステークホルダーの皆様に、当社グループの事業内容だけでなく、成長の礎である経営理念や企業文化、2022年５月10日に公表した中期経営計画に基づいた中長期的な経営戦略、４つのマテリアリティに根差したサステナビリティに係る取り組みなど、財務・非財務情報を整理し、持続的成長の実現や価値創造モデルについてご理解を深めていただくことを目的に発行いたしました。

本統合報告書を通じて、ステークホルダーの皆様との建設的な対話の促進を図るとともに、当社グループの更なる企業価値向上に取り組んでまいります。



「統合報告書2022」は、以下のURLよりご覧いただけます。
https://www.az-com-maruwa-hd.co.jp/ir/library/integrated-report.html

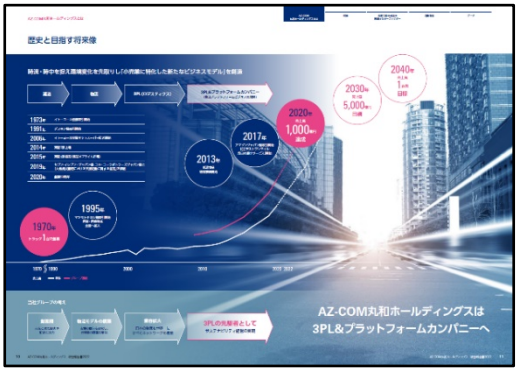
２．「統合報告書2022」の主な内容

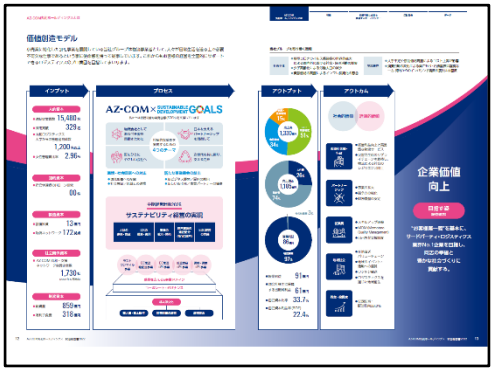
（１）企業理念、桃太郎文化

当社は「“お客様第一義”を基本に、サードパーティ・ロジスティクス業界のNo.1企業を目指し、同志の幸福と豊かな社会づくりに貢献する」ことを経営理念に掲げ、独自の企業文化である「桃太郎文化」をあらゆる企業活動の基盤としています。この経営理念及び桃太郎文化を道標として、これからも新たな事業に挑戦し、成長し、貢献し続けることを示しています。

（２）価値創造モデル

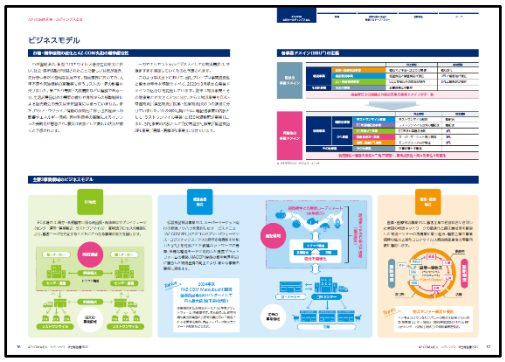
創業以後50年以上に亘り成長し、更に今後も持続的に挑戦し、成長し、貢献し続ける当社が次に目指す姿である「3PL&プラットフォームカンパニー」に向け、いかに事業活動を展開し、経済的価値・社会的価値を創出し、企業価値向上の実現に繋げていくのかを示しています。

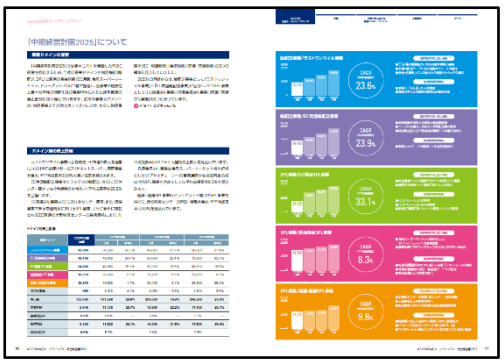




（３）ビジネスモデルと中長期的な経営戦略

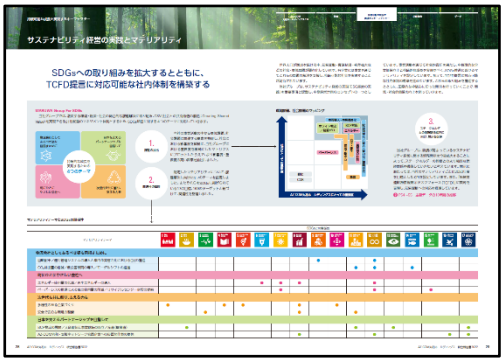
小売業に特化した高品質な物流サービスの提供を成長モデルとし、2030年連結売上高5000億円、2040年連結売上高１兆円という長期ビジョンを実現するために、中期３ヶ年のコアとなる事業領域と定めたＥＣ物流、低温食品物流、医薬・医療物流に係る施策について説明しています。





（４）サステナビリティに係る取り組み

持続的な成長に向け、激変する環境・経済・社会の総合的な課題解決に取り組み、CSV（社会との共有価値の創造）を実現可能な21世紀型のマネジメント体制とすべく、サステナビリティに係る４つのマテリアリティ（重要課題）を設定し、今後取り組むべき課題を示しています。





以　上